

平成 22 年度牧草類優良品種選定試験  
(スーダングラス)

三谷英嗣・松元良祐

Selection test for excellent variety of grasses.  
(Sudangrass)  
(2010. 4~2011. 3)

Hidetsugu MITANI, Yoshihiro MATSUMOTO

要 約

市販のスーダングラス (細茎タイプ) 8 品種 (銘柄) を栽培し、特性について調査した。その結果、生草収量においても乾物収量においても、1 番草から 4 番草の合計では「ベールスーダン」が多収であった。

緒 言

スーダングラスやイタリアンライグラスについては数多くの品種 (銘柄) の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、スーダングラス (細茎タイプ) 8 品種 (銘柄) を「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」(改訂 5 版) に基づき栽培収穫し、それぞれの特性について調査した。

材料および方法

1. スーダングラス

1) 供試品種 (銘柄) 名

うまかろーる、おいしいスーダン、サマーベラー細茎、シュガースリム、  
スーパースイート、トップスーダン、ヘイスーダン、ベールスーダン  
ヘイスーダン

2) 試験区面積・区制 1 区面積 8 m<sup>2</sup>・3 区制 (3 反復)

3) 栽培概要

1) 播種期 : 平成 22 年 5 月 17 日

2) 播種法 : 条播 (条間 80cm)

3) 播種量 : 800g/a

4) 施肥量(kg/a)

堆肥	: 300kg	苦土石灰	: 10kg
基肥	: (N 0.84	P205 1.13	K20 0.72)
追肥	: (N 0.64	P205 —	K20 0.64)

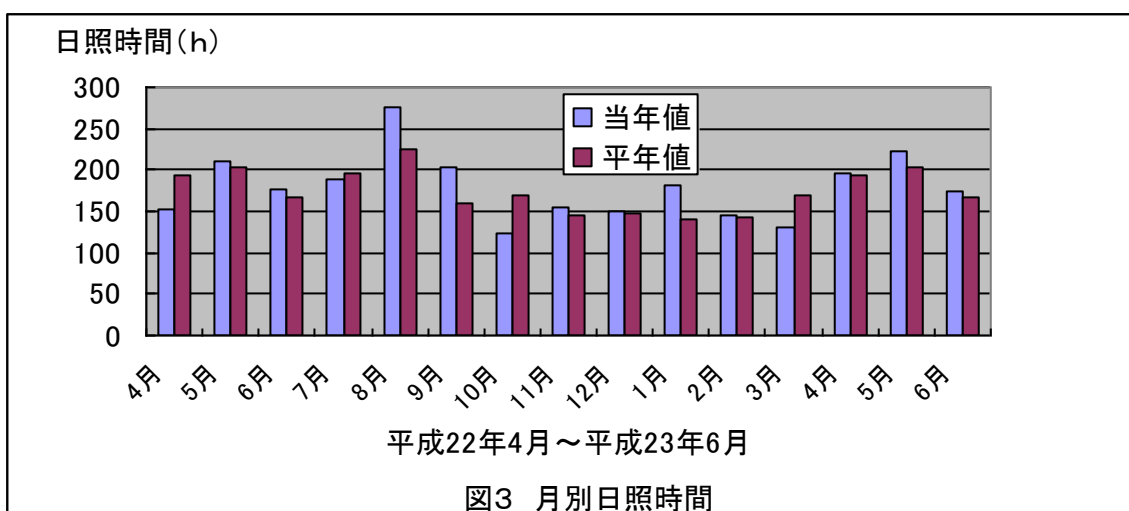
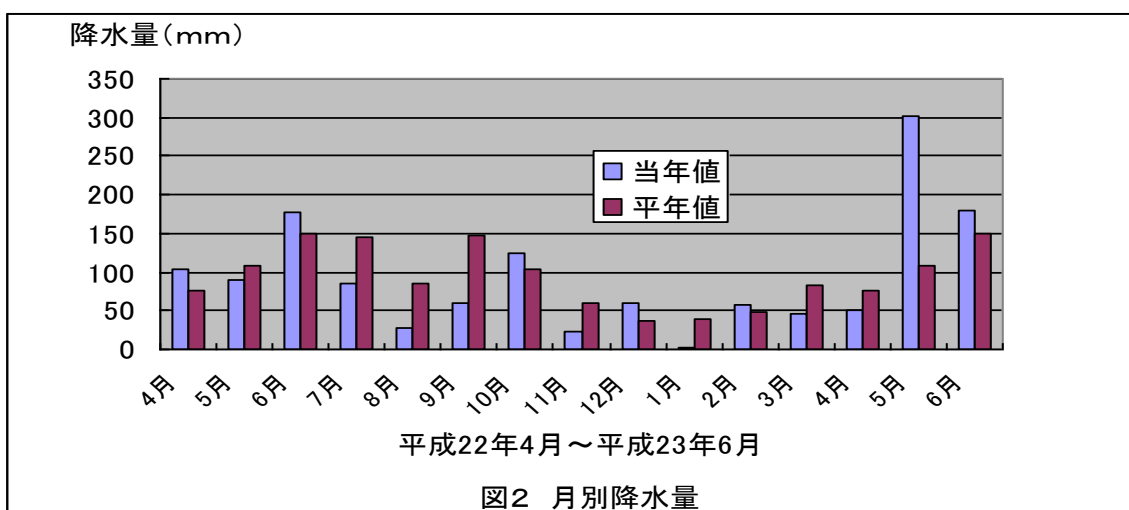
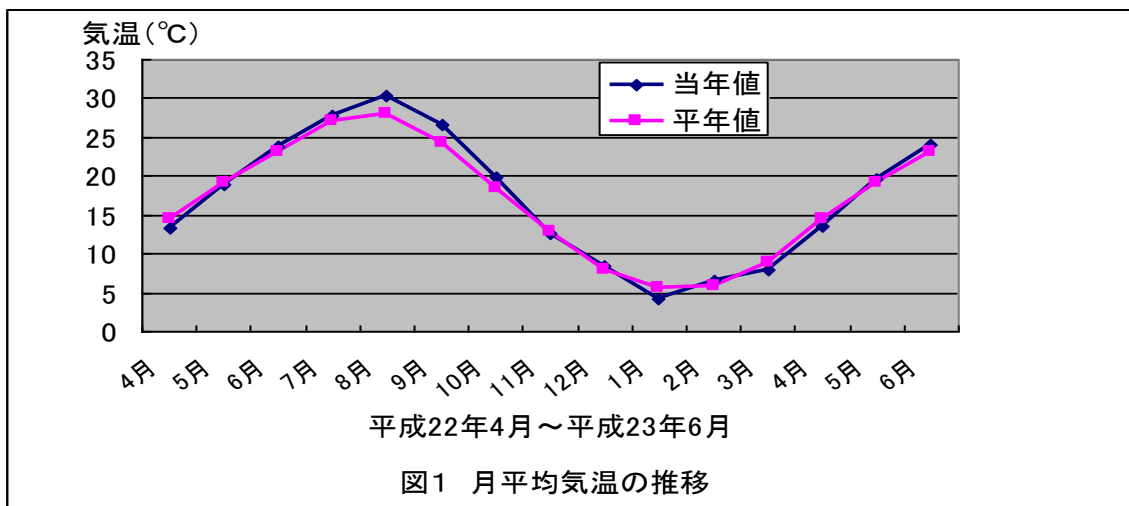
5) 刈取時期

1 番草	: 6 月 24 日
2 番草	: 7 月 22 日
3 番草	: 8 月 24 日
4 番草	: 9 月 22 日

## 結 果

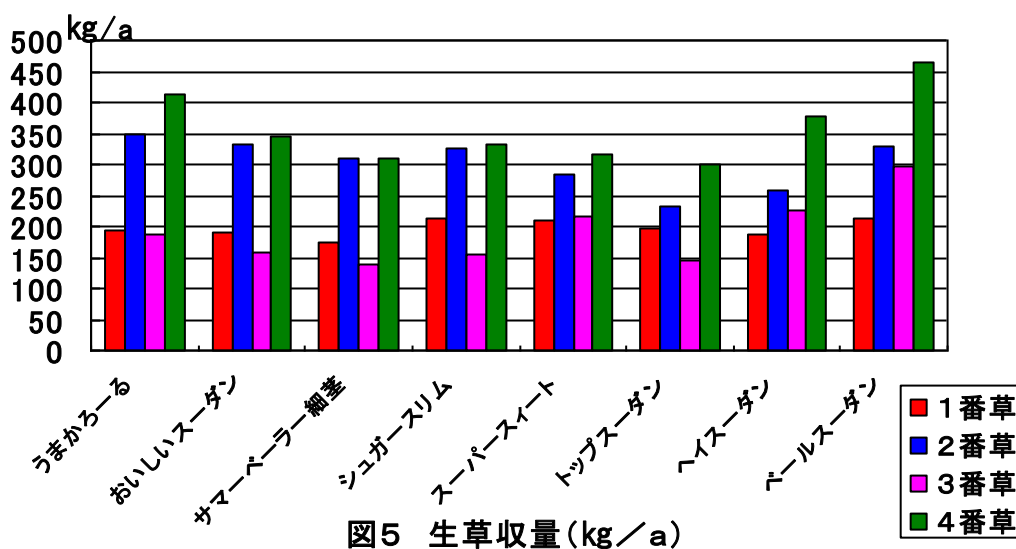
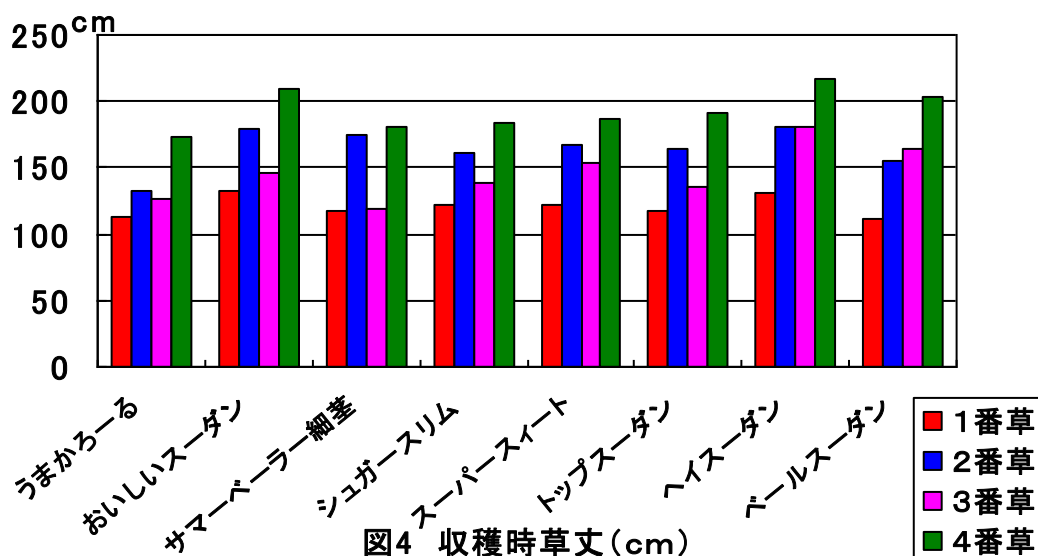
### 1. 気象概要

スーダングラスの試験期間中の気温は、平年並みか平年をやや上回って推移した。降水量は、7月上旬から8月下旬にかけて平年をかなり下回り、渇水となった。日照時間は、7月が平年より下回ったものの、その他の月では平年を大きく上回った。（図1、図2、図3）



2. 生育、収穫状況

収穫時草丈においては、1 番草では「おいしいスーダン」、2 番草では「ヘイスーダン」、3 番草では「ベールスーダン」、4 番草では「ヘイスーダン」が高かった。生草収量においては、1 番草では「シュガースリム」、2 番草では「うまかろーる」、3 番草 4 番草は「ベールスーダン」が多収で、4 回の合計では「ベールスーダン」が多収であった。乾物収量においては、1 番草では「シュガースリム」、2 番草では「おいしいスーダン」、3 番草 4 番草は「ベールスーダン」が多収で、4 回の合計ではこちらも「ベールスーダン」が多収であった。稈径においては、1 番草では「ベールスーダン」、2 番草では「シュガースリム」が細く、茎の数においては、1 番草では「ベールスーダン」、2 番草では「シュガースリム」多く、葉の幅においては、1 番草 2 番草ともに「うまかろーる」長かった。（図 4、図 5、図 6、図 7、図 8、表 1）



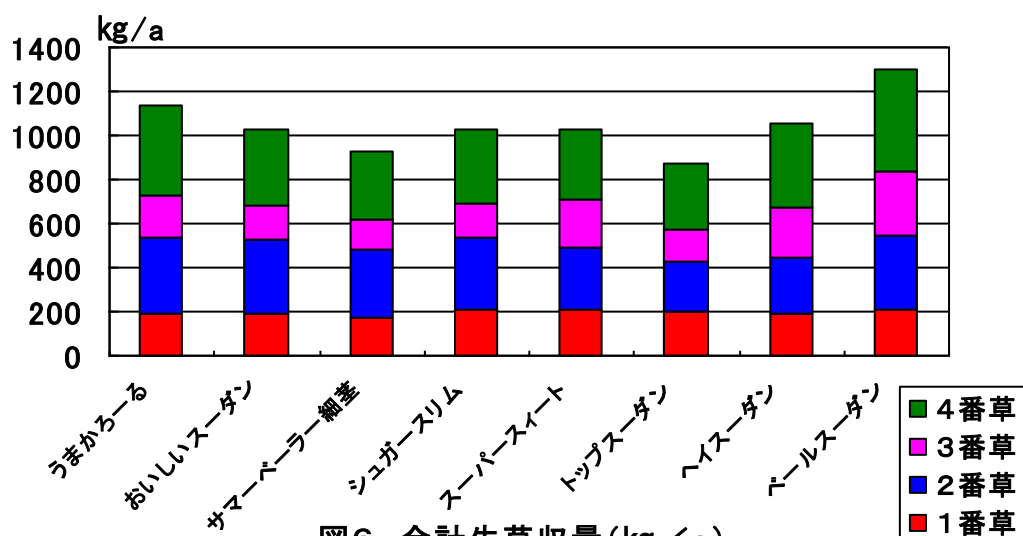


図6 合計生草収量 (kg/a)

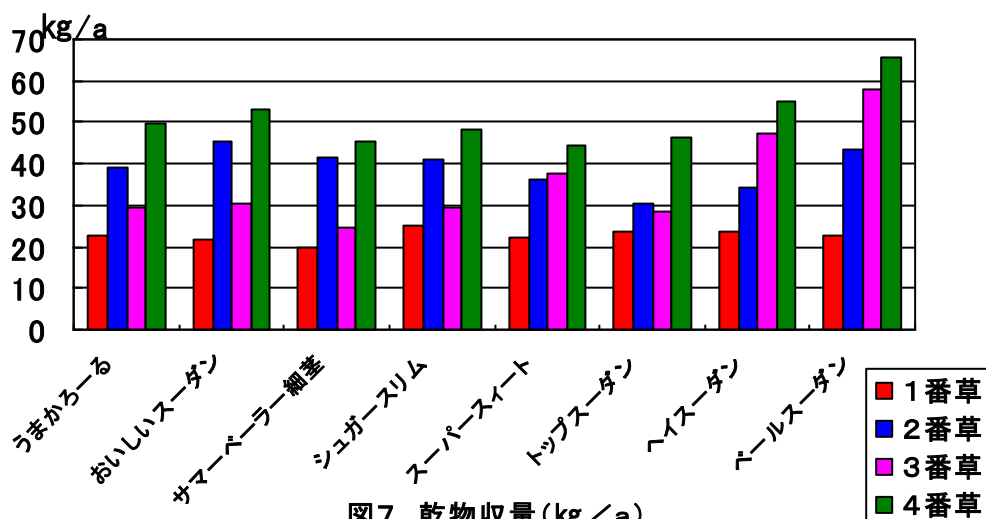


図7 乾物収量 (kg/a)

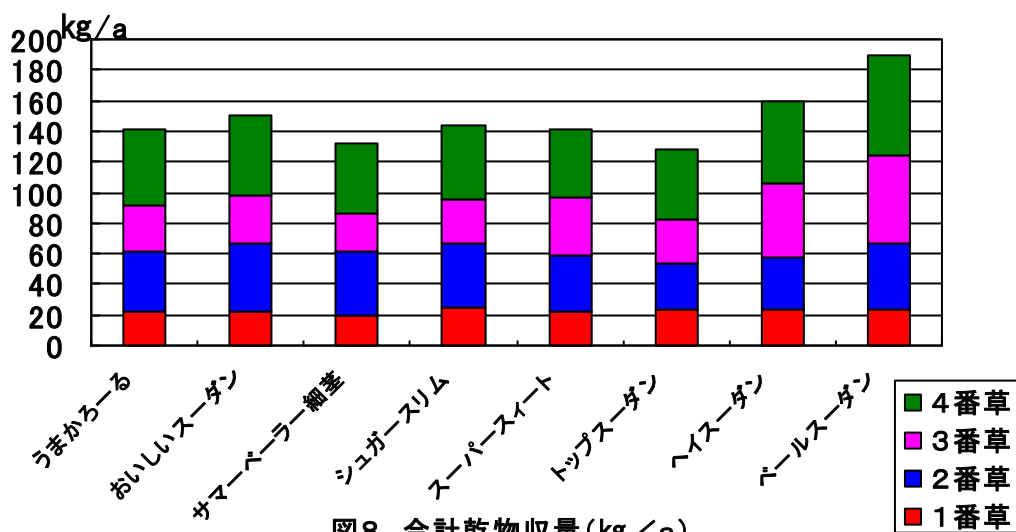


図8 合計乾物収量 (kg/a)

表 1 稈径、茎数、葉幅

	稈径 (mm)		茎数 (本/2 m <sup>2</sup> )		葉幅 (mm)	
	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草	1 番草	2 番草
うまかろーる	6.4	5.9	396	235	27.1	28.8
おいしいスーダン	5.8	6.2	304	231	21.3	26.6
ハマハロー細茎	5.5	6.5	337	274	20	23.5
シュガースリム	5.2	5.5	397	282	22.3	23.9
スーパースイート	6.4	6.1	402	264	18.2	25.5
トップスーダン	5.1	6.2	380	220	22.4	26.3
ヘイスーダン	5.3	6.2	402	231	21.7	26.5
ベールスーダン	4.8	6.4	414	272	24.4	28.3
平均	5.6	6.1	379	251	22.2	26.2

### 総 評

収量の面においては、稈径が細かったにもかかわらず、茎の数が多くまた、葉の量が多かったことが影響し、生草収量、乾物収量ともに多収であった「ベールスーダン」が優秀であった。

スーダングラスを作付する際、品種に迷った場合は、圃場条件や作付形態と合わせて、今回の成績を参考にいただければと思う。